

# 会 議 録

## 1 会議名

平成 29 年度第 4 回上越市地域公共交通活性化協議会

## 2 議題

### (1) 協議事項

議案第 1 号 平成 30 年度公共交通利用促進事業について

### (2) 報告事項

報告第 1 号 平成 29 年度公共交通利用促進事業の進捗について

## 3 開催日時

平成 29 年 10 月 5 日（木） 午後 2 時 00 分から

## 4 開催場所

上越市役所 4 階 401 会議室

## 5 傍聴人の数

0 人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した人

委 員：黒木英文、北嶋宏海（代理：小野仁司）、白石雅孝、内山敏雄、岡田雅美、板垣島美子、梅本博文、新部正道（代理：斎藤龍夫）、市川公男、中村栄（代理：大島真一）、上原みゆき、小林徹、南部ヒロ子、小松美保子、小口幹久、志村喬、小熊貫一

事務局：佐藤課長、今井副課長、塚田係長、白倉主任、杉田主事、畑山主事（新幹線・交通政策課）

## 8 内容

### 1 開会

(事務局) (開会のあいさつ)

### 2 会長挨拶

(黒木会長)

委員の皆様におかれましては、ご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

今年度も6か月が経過し、当協議会として予定しておりました事業については順調に進捗しているところでございます。後ほど、報告事項で詳しい説明があると思いますが、「夏休み小・中・高校生『バス乗車体験』キャンペーン」では、昨年を上回る利用者があり、また、9月16日に開催した「バスの日フェスタ」では多くの皆さんからご来場いただき、大盛況だったと伺っております。10月14日には「なおえつ鉄道まつり」が開催されますので、委員の皆様からもお声掛けいただき、大勢の皆さんからご来場いただきたいと思いますと考えており、このような公共交通に関するイベントを通じて、公共交通に対する親しみをもっていただき、将来の利用につなげていきたいと考えております。

さて、本日の第4回協議会には、協議事項が1件、報告事項が1件提案されております。

協議事項につきましては「平成30年度の公共交通利用促進事業」についてご審議いただき、また、報告事項につきましては「今年度実施している利用促進事業の進捗状況」について報告がありますので、委員の皆様からご意見等をいただければと思います。

また、協議会閉会后には、勉強会を開催いたします。

今回は、「地域公共交通政策に関する国の動向について」をテーマに取り上げ、北陸信越運輸局新潟運輸支局の小松様から今年6月30日に公表されました「高齢者の移動手段の確保に関する検討会の中間とりまとめ」についてご説明いただきます。

国の考え方や方針等の動向について、委員の皆様と情報を共有することにより、今後の協議会での議論をより活発なものにしていきたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、協議会に引き続き、勉強会にご参加くださいますよう、よろしく願いいたします。

(事務局)

ここで、委員変更についてご報告いたします。

東日本旅客鉄道株式会社新潟支社の前川委員が異動され、新たに石塚毅様から委員にご就任いただいております。

委員変更については以上となります。続きまして、本会議の成立

についてご報告いたします。委員数21名に対しまして、出席委員数は代理出席による議決権のある方を含めまして17名です。

よって、会則第8条第2項に規定する過半数を超えておりますので、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

それではこれより、議案に移りますが、議長は会則第8条第1項の規定によりまして、黒木会長から務めていただきます。

(黒木会長) 議長を務めさせていただきます。それでは、協議事項へ移ります。

### 3 協議事項

(黒木会長) 次第の「3 協議事項」、議案第1号「平成30年度公共交通利用促進事業について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局) (議案第1号を説明)

(黒木会長) 今ほど説明のありました、議案第1号について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いします。

(小林委員) 「夏休み小・中・高校生『バス乗車体験』キャンペーン」について、小学生だけでバスに乗ることは難しいことが予想されます。

来年の夏休みには、新水族博物館が開館しており、同伴の保護者も割引にするとといった取組をすれば、乗車人数が増えるのではないのでしょうか。

また、平成28年度の小学生の利用実績は990人いますが、平成29年度は629人と約300人減少しています。特別な要因があったら教えてください。

(事務局) 保護者同伴の割引については、来年度の同キャンペーンを計画する際に頸城自動車様と検討していきたいと思っております。また、新水族博物館が開館するに当たり、車での来訪が多くなることが予想されていますが、公共交通での来訪を促す取組を関係課と調整してまいります。

また、今年度、小学生の利用者が減少した理由については、頸城自動車様から「子供会やイベントでの利用が減ったためではないか」ご意見を伺っております。

(志村委員) 「通学100円バス定期調査結果」において、調査期間中に「直江津駅前」から「イトーヨーカドー前」の間を利用した直江津中等教育学校生が2,3人となっています。その点を踏まえ、利用促進事業であ

る「交通拠点における乗換案内の充実」により、新水族博物館への路線バスの案内で「直江津駅前」から「イトーヨーカドー前」までの路線の案内と記載されていますが、「イトーヨーカドー前」で下車し、新水族博物館まで坂を登る必要があり、ご家族連れで暑い中歩かなければならなくなると、バスに誘導することで、家族連れの負担となり得ることが考えられます。

新水族博物館に乗り入れるバス路線が無い中で、来訪者から新水族博物館への交通が不便だといった意見が様々な方面から出ないよう取組を考えていかなければならないと思います。

(事務局) 志村委員からいただいたご指摘を含めて、関係課と協議をしていきたいと思えます。

(小林委員) 夏休み期間中にバスに乗車していたところ、高校生グループがバスに乗車しており、「バス乗車体験」キャンペーンのことをご婦人の方が教えていたのを車内で聞いていました。

高校生グループは同キャンペーンについて、知らなかったようですが、周知方法について教えていただきたい。

(事務局) 「バス乗車体験」キャンペーンの周知方法については、7月15日の広報上越や新聞への掲載、上越市内の小・中・高校にチラシの配布及びバス案内所や公共施設、バス車内での周知等を行っています。

(白石委員) 9月21日から30日までの10日間、秋の全国交通安全運動が行われ、9月21日、22日の7時過ぎから8時30分までの間、イトーヨーカドー前案内所でバスの運行確認をしていたところ、直江津中等教育学校生が直江津駅方面からイトヨーカドー前案内所の前の道路を歩行して通学していました。

7時20分頃、7時50分頃、8時15分頃に学生が集団で歩行してきており、恐らく鉄道の到着に合わせて学生が多く通学していたものと考えています。その様子と併せて、多くの学生や一般の方が直江津駅方面から歩いていることが分かった2日間でした。

(黒木会長) 人の動きを捉える取組は重要だと思いますので、市としても把握に努めていきたいと考えております。

他にございませんでしょうか。

(発言なし)

特にないようですので、議案第1号について、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご異議ないものと認めます。よって、議案第1号は原案のとおり承認されました。

#### 4 報告事項

(黒木会長)

続きまして、次第の「4 報告事項」に移ります。

報告第1号「平成29年度公共交通利用促進事業の進捗について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(報告第1号を説明)

(黒木会長)

それでは、今ほど説明のありました、報告第1号について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いいたします。

(上原委員)

板倉区内で実施された「敬老の日におじいちゃんおばあちゃんとバスに乗ろう！」キャンペーンについて、バスに乗車した際に両側の広告掲示スペースに似顔絵があり、非常に明るい雰囲気を感じました。

また、報告にある原画展示会場にも6組以上来られていたように思います。

この事業を板倉区だけでなく、可能なところはバスの車内に子供たちの絵を展示する取組を広めたらどうでしょうか。

(事務局)

今年度、初めて実施した取り組みであり、今回の事例を各区に紹介し、取り組める区があれば来年度以降の実施を検討していきたいと思えます。

(志村委員)

6組のご家族が来所と記載がありますが、バスに乗って来所されたのでしょうか。

また、同キャンペーンによる乗車人数の成果はどうでしょうか。

(事務局)

板倉区総合事務所で6組のご家族を確認いたしましたが、来所された方への来所方法のヒアリングをしておりませんでしたので、来年度、本事業実施の際には、ヒアリングやアンケートにより来所方法を把握したいと考えております。

なお、同キャンペーン対象路線は、平成29年4月に再編をしていることから、昨年の9月との単純比較はできないため、同キャンペーン期間中の乗降調査の結果と期間以前の乗降調査の結果により比較できるか、現在精査を行っているところです。

(志村委員) 原画展示会場へは、車に乗っても来所できるため、単独での事業ではなく、ぬり絵や「バス乗車体験」キャンペーン、高齢者への割引施策等を組み合わせて行うことにより、乗車人数が増えるのではないかと考えられます。

(黒木会長) 総合的に取組を合わせることによって、様々な効果が発生するかと思いますので、検討してまいりたいと思います。  
他にございませんでしょうか。

(発言なし)

特にないようですので、ご異議ないものと認めます。  
以上をもちまして、議題の審議を終了いたします。

ここで、えちごトキめき鉄道の小野委員代理から「なおえつ鉄道まつり等鉄道イベント」について、頸城自動車の白石委員から、「夏休み小・中・高校生『バス乗車体験』キャンペーン」及び「バスの日フェスタ」について、それぞれご報告がございます。  
まずは、小野委員代理からお願いします。

(小野委員代理) 明治5年(1872年)10月14日、新橋から横浜の間に日本で最初の鉄道が開業したことを記念して、毎年10月14日を「鉄道の日」と定められています。

鉄道関連のイベントが全国的に行われていますが、えちごトキめき鉄道沿線では、直江津駅、二本木駅及び糸魚川駅の3駅で鉄道に関するイベントを開催し、3駅を回遊していただくことで、1日中、鉄道を楽しんでいただくといった主旨となっています。

「なおえつ鉄道まつり」では、直江津運転センターや直江津駅の自由通路、直江津駅前を利用して、様々なイベントを行います。

イベント例を申し上げますと、普段乗られないレールスターの試乗体験や転車台旋回体験を予定しております。

二本木駅では、えちごトキめきリゾート雪月花がローレル賞を受賞した記念に特別撮影会を開催します。普段はホーム上からしか撮影できませんが、当日は特別な会場を設け、いつもとは違うところ

からの撮影が可能ですので、スイッチバックを走る雪月花を撮影いただければと思います。

最後に、糸魚川駅では大糸線全線開通60周年を記念したイベントが行われます。チラシ右下に駅スタンプラリーの開催に関する掲載がありますが、紹介した3駅を回遊すると景品をプレゼントするというイベントですので、鉄道ファンのみならず、家族連れにも楽しんでいただけたらと思います。委員の皆様からもお声掛けいただき多くの方からご参加をお願いしたいと思います。

(白石委員) 「夏休み小・中・高校生『バス乗車体験』キャンペーン」についてご報告いたします。

頸城自動車グループの乗車人数は、前年と比較して994人増となっております。

小林委員のご指摘のとおり、小学生の乗車人数が減少しているところがございますが、事務局から報告があった要因の他に、小学生の減少も要因の一つと考えられます。なお、中高生の利用者がグループ会社全体で1,355人増えており、オープンキャンパスといった要因もありますが、本キャンペーンが中高生に浸透してきたと考えております。

次年度も取組を継続し、本キャンペーンが浸透していくことにより、小中高校生の利用者が更に増えることを期待しております。

バスの日フェスタにつきましては、協議会並びに警察、消防、自衛隊の関係機関の皆様からご協力いただき誠にありがとうございます。

バスの乗り方教室では、女性ドライバーを配置し、来ていただいた方に乗り方を教えておりました。

「バスの乗り方が分からない」、「バスがどこに行くか分からない」といった声が、乗車を阻害する要因の一つと考えておりますので、小さい頃からバスに親しんでいただければ、将来的な利用につながっていくと考えております。

(内山委員) 「上越市内“得”公共交通」に記載がある割引制度について、本来は自治体を実施する制度と考えています。

年々、制度の利用者が増え、事業者の負担が増加しており、市長に事業継続のための援助の要望を行ったところではあります。

75歳以上の方の免許返納が多くなっていることや上越市は交通空白地、過疎地もありますので、運転免許証自主返納支援事業を現状の1年から3年又は4年継続して援助していただけるように、お話をしているところです。上越市は割引の先進地であり協会にも様々な自

治体から割引方法の問合せをいただいております。

最後となりますが、10月29日の航空ダイヤの改正によりソウル便が1便増便され、ダイヤ改正に合わせて、新潟空港直行ライナーを月曜日のみ2便増便いたしますので、是非、広報上越に掲載いただければと思います。

(小林委員) 三条市の乗合タクシーに高校生の通学利用があると記憶していますが、土・日・祝日の試験運行を実施する記事がありました。

平成27年の1日平均利用客数が300人ほどあると書いてありましたが、今後、上越市でも乗合タクシーを広める調査が必要になるのではないのでしょうか。

また、市民の声で「通学の公共交通手段がなく、自家用車での送迎が必須」との声がありました。「料金が高額である」との声も書いてあり、簡単にできることではありませんが、協議会でもいろいろと検討していく必要があるのではないかと感じました。

(事務局) 内山委員のご意見にありました新潟空港直行ライナーの増便については、11月1日号の広報上越で掲載いたします。

小林委員のご意見にありました乗合タクシーと新聞記事については、乗合タクシーは中郷区で運行しており、浦川原区でも予約型の乗合バスを運行しています。

新聞記事に記載のとおり、「料金が高額」との声をいただいておりますが、どのようなことに取り組むことで乗っていただけるのか、料金やダイヤ等、利用者の声を聞きながら検討していきたいと考えております。

(黒木会長) その他にご意見、ご質問等ありますでしょうか。

なお、本日「意見シート」をお配りしておりますので、議案の内容等で何かお気付きの点がございましたら、「意見シート」などを活用いただき、事務局へご連絡くださいますよう、お願いします。

それでは、すべての審議が終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。

## 5 その他

(事務局) 続きまして、次第「5 その他」に移ります。

事務局より1点ご連絡があります。

次の会議は、12月の開催を予定しており、詳しい内容は改めて書面にてご連絡させていただきます。



6 閉会

(事務局) (閉会のあいさつ)

以上

9 問合せ先

企画政策部新幹線・交通政策課交通政策係 TEL : 025-545-9207 (内線 1874)  
E-mail : kotsu@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。